

教育

研究

社会貢献

大学の3つの使命を果たすため 図書館は、今何をすべきか

講師



米国 デラウエア大学図書館・博物館担当副学長
Mr. Trevor A. Dawes
〔トレヴァー・ドーズ氏〕

講演テーマ

図書館のリーダーシップと
コラボレーション
～日本の学術図書館に対する米国の視点～



2026.1.28(水) 9:30-11:30

オンライン開催(同時通訳有り／言語:英語)

加盟館限定ページにてアーカイブ公開予定

お申込み
について

対 象 私立大学図書館協会加盟館の方
国立大学図書館協会及び公立大学協会図書館協議会の方も
お申込みいただけます。

定 員 300名

参 加 費 無料

申込期間 2025年12月9日(火)-2026年1月21日(水)

【お申込み方法】

以下フォームに左記期間内に入力してください。
折り返し参加方法をお知らせいたします。
<https://forms.gle/ch1kudpjJA8W6QsT8>



QRコードからも
アクセスできます



Japan Association of Private University Libraries

私立大学図書館協会

主 催 私立大学図書館協会
企 画 私立大学図書館協会 国際図書館協力委員会
協 力 丸善雄松堂株式会社、Maruzen International Co., Ltd.
問 合 せ 私立大学図書館協会 国際図書館協力委員会事務局
(中部大学附属三浦記念図書館 担当:高木)
TEL : 0568-55-7680 / Email : kokusai-ml@jaspul.org

本セミナーは、私立大学図書館協会国際図書館協力基金のもとに実施されるもので、2000年5月に委員会手作りの国際図書館協力シンポジウムとして企画され、海外の図書館館長クラスを講師に招き開催してまいりました。

2018年度までは加盟館を会場として開催をしてまいりましたが、コロナ感染拡大の影響によって2020年度からはオンライン開催により、関連庶務を業者委託し、国際図書館協力セミナーと称して、2024年度までに17回を数えます。

◆ 講師紹介



米国 デラウエア大学図書館・博物館担当副学長

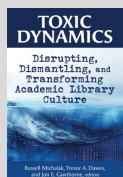
Mr. Trevor A. Dawes〔トレヴァー・ドーズ氏〕

トレヴァー・ドーズ氏は、20年以上の学術図書館分野の経歴の中、図書館全体のプロジェクトやプログラムにプラスの影響を与えるサービス強化の研修や専門能力開発の機会を開発、提供してきました。また、図書館員や図書館職員の知識、スキル、能力、能力を向上させることを目的とした、リーダーシップや組織開発、多様性に関するワークショップも推進しています。

氏の著書には、学術図書館におけるリーダーシップ、多様性、組織開発に関する書籍の章が含まれます。アメリカの図書館界では大学研究図書館協会(ACRL)および研究図書館協会(ARL)を歴任しました。氏はいくつかの図書館および図書館関連組織の理事も務めています。氏はラトガース大学で図書館サービスの修士号を取得し、コロンビア大学ティーチャーズカレッジで教育管理の修士号と教育リーダーシップの教育修士号、コロンビア大学で社会学の学士号も取得しています。セントルイスのワシントン大学で大学准図書館員、プリンストン大学図書館でサーキュレーションサービスディレクターを務め、ニューヨーク市のコロンビア大学の図書館でも、いくつかの役職を歴任しました。

現在、デラウエア大学の図書館・博物館担当副学長であり、大学図書館、博物館、大学出版局のスタッフと運営を監督しています。また、同大モリス図書館ライブラリアンでもあります。日本での活動として京都情報大学院大学(KCGI)教授:Library Informatics担当、2021年から、教育、文化、知的交流を通じて日米関係を強化する機関である日米友好委員会(JUSFC)の委員、カルコン(日米文化教育交流会議)のパネリストを務めています。

参考文献



Toxic dynamics: Disrupting, dismantling, and transforming academic library culture

「有害なダイナミクス: 学術図書館文化の破壊、解体、変革」

ラッセル・ミハラク、トレヴァー・A・ドーズ、
ジョン・E・カウソン編、シカゴ、イリノイ州、
ACRL (米国大学・研究図書館協会), 2024年

ISBN 979-8-89255-551-7

デラウエア大学

1743年創立の米国デラウエア州ニューアークにある総合大学。学部生約19,000名、大学院生約4,000名、研究者および研究生約1,000名を擁する。

地上3階、地下1階建ての「モリス図書館」の他に、化学、物理、海洋、教育を専門とする4つの分館と鉱物学博物館などを含む4つのミュージアムを有する。



講演トピック

- I. はじめにと歓迎 自己紹介
- II. 大学の中心である図書館「キャンパスの中心」とは一体何を意味するのでしょうか?
- III. 図書館の壁を超えてリードする キャンパスのリーダーシップの機会 オープンアクセスへの取り組み
- IV. 図書館リーダーの特徴 あらゆる立場からのリーダーシップ
- V. 図書館文化の変革「有毒なダイナミクス」からの教訓
- VI. カルコンと日米図書館協力情報アクセス作業部会の使命
- VII. コラボレーション強化に向けた架け橋のビジョン

【講演詳細】

私立大学図書館協会ホームページをご覧ください

<https://www.jaspul.org/collegium/cat4/2025>

QRコードからもアクセスできます

